

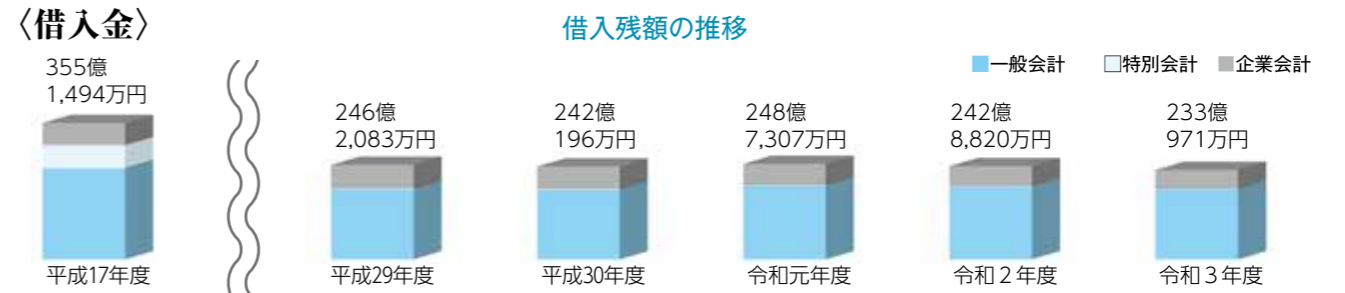
# ●江田島市の借入金と貯金



参考

- 令和3年度末の見込み
  - 市の借入金 233億971万円
  - 市の貯金 76億478万円
- 令和3年2月末の人口 22,327人（住民基本台帳）

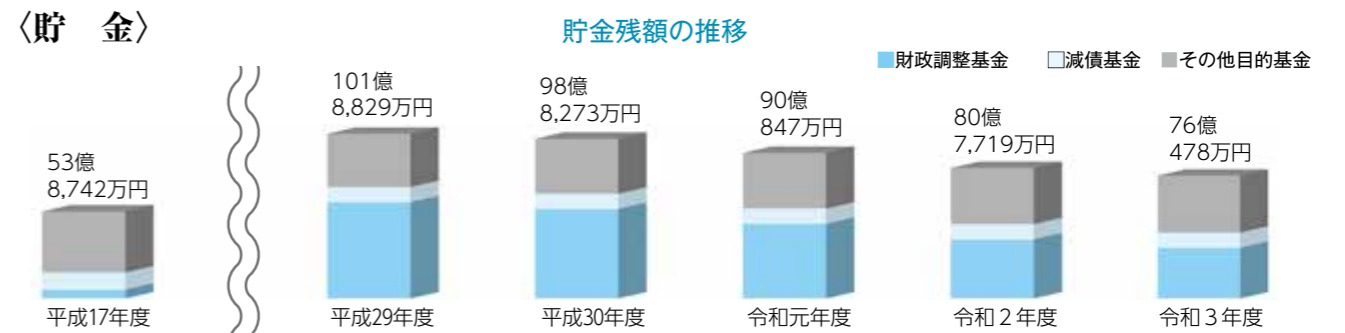
■一般会計における借入金残高は令和3年度末には、令和2年度末に比べ、6億3,666万円減少する見込みです。



区分	平成17年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計	237億8,677万円	182億8,001万円	181億8,560万円	192億18万円	189億7,282万円	183億3,616万円
特別会計	59億1,285万円	3338万円	2214万円	1241万円	468万円	0万円
企業会計	58億1,532万円	63億744万円	59億9,422万円	56億6,048万円	53億1,070万円	49億7,355万円
合計	355億1,494万円	246億2,083万円	242億196万円	248億7,307万円	242億8,820万円	233億971万円

令和元年度末の借入金残高約248億7,300万円のうち約167億9,700万円は交付税に算入されるため、市の実質的な負担は、約80億7,600万円の見込みです。

詳しくは  
コチラ



区分	平成17年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財政調整基金	5億2,996万円	59億4,857万円	55億3,865万円	46億1,487万円	36億5,128万円	31億2,806万円
減債基金	10億7,612万円	9億4,251万円	9億4,393万円	9億4,546万円	9億4,696万円	9億4,835万円
その他目的基金	37億8,134万円	32億9,721万円	34億15万円	34億4,814万円	34億7,895万円	35億2,837万円
合計	53億8,742万円	101億8,829万円	98億8,273万円	90億847万円	80億7,719万円	76億478万円

## 厳しく予算をチェック

令和3年第1回江田島市議会定例会本会議（2日目）において、予算審査特別委員会を設置し、常任委員会所管ごとの3分科会に令和3年度予算を付託しました。  
3分科会を、3月1日から3月8日まで開催し、慎重に審査した結果、原案のとおり可決しました。

### 文教厚生分科会

3月1日および2日に開催。所管は、教育委員会、福祉保健部および市民生活部。  
①ICT教育推進のため、児童生徒1人1台タブレット端末が配置されるが、それを生かし、不登校児童生徒がオンラインで授業に参加が可能となるような支援にも取り組んでいきたい。  
また、新しく導入されるデジタル教科書は学習障害など文字の読み書きが苦手な児童生徒など配慮が必要な子どもが学びやすくなるツールであることから、個々の特性に配慮した学習もできるように積極的に活用していきたい。

②大柿高校の令和3年度入学予定者は40人で、新年度の生徒数は10年ぶりに100人を越え113人の見込みとのことである。これまで大柿高等学校サポート事業による、中高連携事業、公営塾の運営、通学費の補助などさまざまな支援が高校存続につながったと理解する。サポートの継続については、今後の推移を注視し、慎重かつ適正に判断されたい。  
なお、小中学校生対象の公営塾の設置について、保護者から要望があることを申し添える。

③新型コロナウイルスのワクチン接種については、ワクチンの供給される時期や配布量が見通せない中、各市町は詳細を詰めることができないのが現状である。

### 総務分科会

3月3日および4日に開催。所管は、総務部、企画部、危機管理監、会計、監査および消防本部。  
①委託料について、全体予算に係る比率が膨らんできている。システム系の委託等専門性の高いものについては仕方がないとしても、内容によっては職員において作成できそうな計画等もある。今後の取り組みとして、安易にコンサルタント委託するのではなく職員で作成できるものは、職員自らが取り組むといった姿勢が必要と考える。  
引き続き職員の意識改革と人材育成の推進をは

かるとともに、専門性の高い知識や技能を身につけるための職員研修についても検討され、実践向きの職員育成にも積極的に取り組まれない。  
②令和3年2月に策定された「江田島市行財政経営計画」を着実に実行していただきたい。また、毎年見直し、予算審議の際に検証を行うことで適正な財政運営に努められたい。令和3年度の補助金額は、新ホテル等整備事業補助金の5億円を差し引くと、前年度比約2400万円増である。補助金の縮減を徹底し、經常収支比率の改善をはか

③サテライトオフィス事業について、コロナ禍の中、IT企業等においてはリモートワークによる事業展開がはかれるようになった。そうしたことから江田島市も「しごと場創出事業」としてサテライトオフィス誘致事業を行っている。  
人口減少の進む江田島市にとって、しごとの場

の創出は必要と考えるが、市民にとって真の仕事の場の創出になっっているのか等、しっかりと口ジック（筋道）を構成した上で事業を推進されたい。  
また、農地は空き家に付随したものも多いため、関係部署と連携をはかり、移住者による農地利用の施策をはかられたい。

### 産業建設分科会

3月5日および8日に開催。所管は、土木建設部、産業部、農業委員会および企業局。  
①平成30年7月豪雨災害に係る災害復旧事業は、令和2年度からの繰越分を含め、約6億2800万円を令和3年度予算に計上し、令和3年度末で事業完了の予定である。進捗管理を徹底し、令和3年度内復旧に努められたい。

また、今後は市道等の整備や点検など災害予防に努めるとともに、突発的に起こる災害の復旧事業には、地元業者の協力が不可欠であるため育成をはかられたい。  
④下水道事業については、新たな下水道接続の望みもなく、下水道使用料の増加も見込めないため、料金改定はやむを得ない経営改善に取り組むとともに、市民に十分理解が得られるよう努められたい。

②農業振興地域整備計画の策定により、農業の健